



7月 つきぐみだより



進級してからあっという間に4か月が過ぎました。子どもたちは毎日遊ぶ中で、考えて、試して、また遊んで、を繰り返す中で自分なりに試行錯誤をする面白さや友達と一緒に遊ぶことを楽しみ、心身ともに少しずつ成長しています。

夏祭りではつき組が好きなけん玉とカブトムシのトントン相撲のお店にしたいと相談し、それぞれのお店で何が必要か、どんな遊びにするのかと何度も話し合いをしました。その中で、友達と意見が異なることもありましたが、「じゃあ、こうしたらどう?」「2つ（の考え）を合わせたらいいいやん」と子どもたちなりに解決策を出し、折り合いをつけていました。少しずつ話し合いの時間が長くなっても集中し、夏祭りの活動だけでなく、歌を歌うとき、話を聞くとときなどメリハリをつけられるようになってきました。

2学期も、子どもたちが“やってみたい”と思うことに全力で取り組んでいきたいと思います。

夏祭り

つき組は、「けんだまあんどかぶとむしとんとんずもうやさん」のお店をしました。けん玉遊びは、けん玉を忘れた友達や他クラスの友達がいつでもけん玉で遊べるようにと、手作りのけん玉をつくったことから、遊びが始まりました。カブトムシのトントン相撲は、クラスで育てているカブトムシの様子を見て、紙でカブトムシをつくって遊んだことから遊びが広がりました。

毎日親しんで遊んでいる遊びだからこそ「夏祭りでもけん玉屋さんしたい」「カブトムシ屋さんもしたいな」と声が出てきて、そこから友達と協力してお店をつくり始めました。どのようにお店をつくっていくのか互いにイメージを共有し、役割分担をしてつくり、みんなで遊ぶことを何度も繰り返していくうちに、お店が出来上がりました。

当日は「いらっしゃいませー!」「おめでとうございます!」と店員になりきり、遊びました。他クラスの遊びやPTAの方が用意してくださったお店も楽しみ、遊んでいました。



つき組のパラバルーン

絵の具をした後にブルーシートを片付けるときにパラバルーンのようにして遊ぶと、「ゴミ袋でもできそう」という声が出て、実際にカラーポリ袋で遊びました。遊んでいると、去年の年長組がしていたことを思い出し「バタバタしよ」「先生が中に入って棒使うやつしたい」「色塗ったらもっと素敵になりそう」と様々な意見が出ました。子どもたちの考えから繰り返し遊び、つき組だけのパラバルーンができました。



泥んこ遊び、水遊び

気温も高くなり、泥んこ遊びと水遊びをしました。水遊びではフープにビニールをつけたバリアを用意すると、それを使って水鉄砲の水が体にかからないように工夫しながら友達や教師と全身を使って遊びました。

以前、ビニールに絵の具で絵をかいたものを用意すると、水鉄砲で水をかけ「絵の具固まったのに溶けてきた!」と驚きながら、伸び伸びと遊びました。

泥んこ遊びでは、パイプを土の中に埋めて道をつくり「下水道つくってるねん」と下水道科学館に行った経験からイメージをもち、全身泥だらけになりながら遊んでいました。

